

「与えなさい。 そうすれば、あなたがた にも与えられる。」

«押し入れ、揺すり入れ、あふれるほどに量りをよくして、ふところに入れてもらえる»

(ルカ福音書6章38節)

イエスは、福音の新しいメッセージを伝えてくれます。それは、「溢れる愛」でご自分の子ども一人ひとりを愛される御父がいること、そしてその子らが、周りの兄弟姉妹に対して、心をぐんと広げることができるための力も与えてくれる、というメッセージです。

このみ言葉は多くを求めます。

«自分のものを与えること。

でも、それだけでなく、御父に倣って寛大な心をもって、憐みや赦しを与え、そして、相手を受け入れることも求められています»

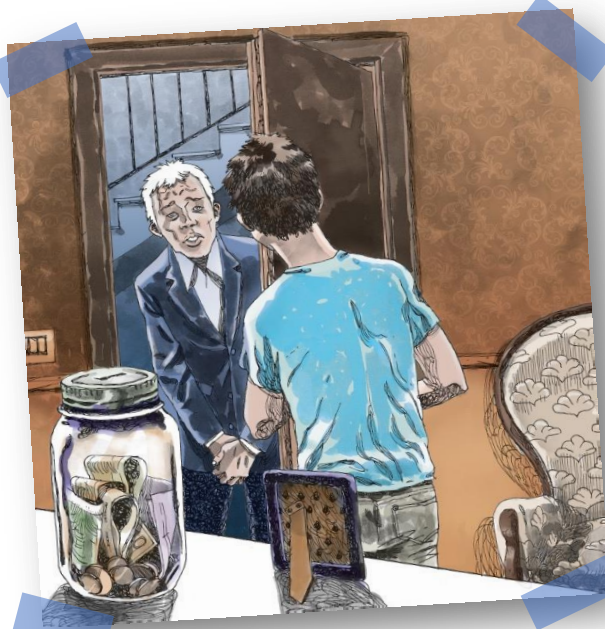
「溢れるほどにふところに入れてもらえる」という言葉が示すのは、神様の愛が、無限大だということ。そして神様の約束は、私たちの期待を遙かに越えたかたちで実現する、ということです。

僕らの経験

「僕はとても貧しい地域に住んでいます。サッカーシューズが買いたくて、何とかしてお金を貯めていました。僕は学校のサッカーチームに入っていて、サッカーが大好きなんです。」



ある日、一人の男の人が家にやってきました。その人は息子が一人亡くなってしまい、埋葬するためのお金を恵んでももらえないかと言うのです。僕は、この人の内にイエスがおられると思いました。自分が貯めているお金のことを思い出し、それをあげました。



3日後、叔母さんが、ちょうど僕が欲しかったサッカーシューズをプレゼントしてくれました。」

M. (スペイン、バレンシア)



「誰かから贈り物を貰った時、自分も何かお返ししたいと思ったことはありませんか？もしそうなら、愛である神様にとってはなおさらのことでしょう。」

私たちが神様のためにと思って、隣人に行なったことに対して、神様はいつも豊かに報いてくださいます。それは、私たちを富ませるためではありません。神様が報いをくださるのは、神のみ摂理の管理人として、より多くの富を他の人に分配できるからです。

自分の周囲でどんなものも循環させましょう。

もちろんイエスは、私たちが第一に受ける報いは天にあると考えたはずですが、この地上で起こることは、天の報いの前触れであり、それを保証してくれるものです。¹

キアラ・ルービック

一致をめざす青少年(T4U)
国際事務局による編集済

www.focolare.org/japan